

# 日野市子育て支援施設個別施設計画 概要版

## 第1章 計画策定の背景及び目的

### 背景

老朽化した公共施設の建物や設備の大規模改修や建替えが今後集中的に発生し、本市の財政の大きな負担となることが懸念されています。また、少子高齢化や人口減少が進む中で、今後の公共施設の利用需要は変化することが予想されます。

本計画は、公共施設等総合管理計画において定められた公共施設の総量を縮減しつつも公共サービスは充実させていく「縮充」の考え方を取り入れた公共施設マネジメントを進めます。日野市の子育て支援施設について、基本情報を整理した上で、今後の子育て支援施策を踏まえた評価・分析を行い、安全な施設利用を持続的に提供し、市民の子育て支援環境を将来にわたって維持・運営するための方針を示すことを目的とします。

### 位置づけ

本計画は、「日野市公共施設等総合管理計画」を上位計画とする、子育て支援施設における個別施設計画として位置づけられます。

### 計画期間

令和7年度(2025年度)から令和34年度(2052年度)までの28年間

※必要に応じて計画を見直します。

### 対象施設

保育園9施設、児童館10施設、学童クラブ29施設、その他子育て支援施設3施設の合計51施設

## 第2章 子育て支援施設に係る現状及び将来の見通し

施設類型	現状等
保育園	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 未就学児人口は減少傾向にあるが、申込率は増加傾向にある。</li><li>・ 人材確保が困難な中、職員の配置基準改善への対応が求められており、定員縮小による待機児童数への影響が懸念される。</li><li>・ 保育園の多機能化や、多様な保育ニーズへの対応が求められている。</li></ul>
児童館	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 年間利用者数はコロナ禍で一時落ち込んだものの、現在は増加傾向にあり、今後も年間20万人以上の利用を見込んでいる。</li><li>・ 地域の身近な相談場所。</li><li>・ 0歳から18歳までの子どもの居場所として、年々ニーズが高まっている。</li></ul>
学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出現数上昇により利用児童数は増加傾向にあり、今後も需要が高まっていくことが予想されるため、施設整備が求められている。</li><li>・ 保護者の働き方の多様化により、育成時間の拡大が求められている。</li></ul>
その他子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発達・教育支援センター「エール」が実施する相談・支援事業の利用者数は増加傾向にある。</li><li>・ 身近な地域で相談できる場所として、子育てひろば等の子育て支援施設の適正配置に取り組むことが求められている。</li></ul>

## 第3章 子育て支援施設の最適化に関する基本的な方針

### 適性配置

将来的な人口減少や年少人口の減少、各施設が立地する地域の特性等を踏まえて、各施設の利用状況やニーズを検証し、必要なサービス提供量や施設規模等について検討します。

### 多機能化・複合化

サービス提供を継続する必要がある場合は、従来の設置形態やサービス提供方式にとらわれない多機能化や、類似施設等との複合化や共用化等による施設更新を検討します。多機能化や複合化等を推進することで、サービスの充実や利便性の向上を図るとともに、施設総量の縮減に加えて、市全体の公共施設事業の効率化を図り、維持管理や運営のコストの低減に努めます。

### 長寿命化、予防保全による維持管理

中長期的な施設の維持管理や更新等に必要なコストの縮減や、予算の平準化を実現するため、既存の建物をできるだけ長く使い続ける「長寿命化」を基本とします。

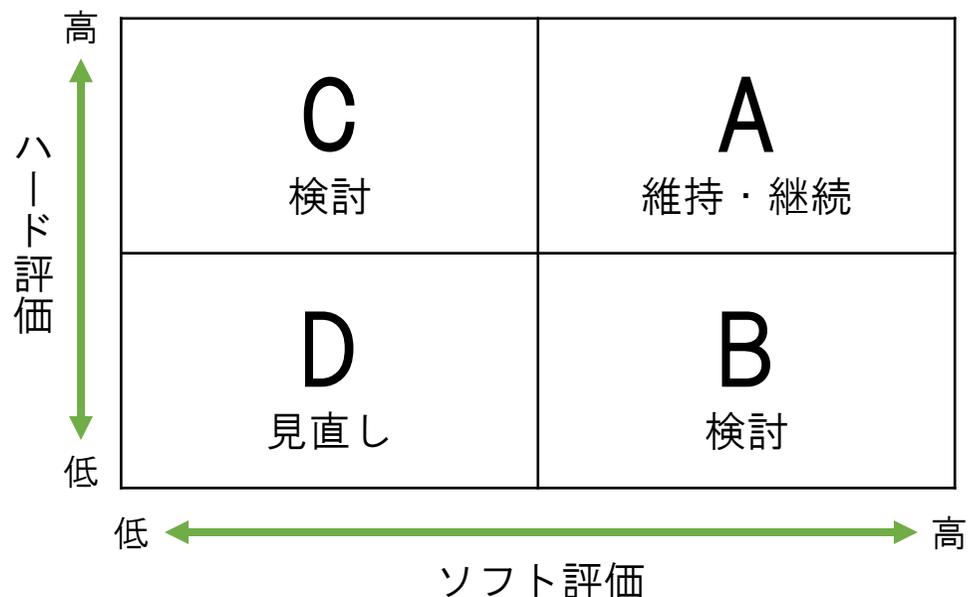
また、今後も長期的な使用が望まれる施設については、損傷が軽微である早期段階から予防的に修繕を実施して機能や性能の保持・回復を図る「予防保全」を導入します。予防保全を通じて、突発的な事故や修繕料等の発生を抑制し、利用者の安全の確保や、中長期的な施設維持管理や更新等に必要なコストの縮減や、予算の平準化に努めます。

# 第3章 3.2.2 施設評価指標による評価

## 評価方法

ハード面の評価(建物総合評価)とソフト面の評価(行政サービス総合評価)の2軸の評価指標によって、右のように4類型に分類し、対応方針を検討します。

※その他子育て支援施設は、施設評価指標による評価は行わないこととします。



## 評価指標

ハード評価とソフト評価は、施設類型ごとの特徴を考慮し、下記の表の通り、それぞれ異なる指標を用いて評価することとします。

施設類型	ハード評価指標	ソフト評価指標
保育園	老朽度、所有状況、健全度	連携度、利用実態、ハザード評価
児童館	老朽度、健全度	利用実態、運営経費、ハザード評価
学童クラブ	老朽度	利用実態、ハザード評価

### 第3章 3.2.2 施設評価指標による評価

施設類型	A (維持・継続)	B (検討)	C (検討)	D (見直し)
保育園	みさわ あさひがおか おおくぼ しんさかした	ひらやま みなみだいら	もぐさ台	あらい たかはた台
児童館	ひらやま、みさわ あさひがおか、しんめい たまだいら まんがんじ みなみだいら	ひの	さかえまち	もぐさだい
学童クラブ	さくら第一、八小 一小、しんめい 夢が丘小、ひのだい 豊田小たんぽぽ 万願寺、七小、四小 三沢、旭が丘東 七生緑小、五小 四小あおぞら あさひがおか 豊田小いなほ、たきあい ふたば、たけのこ 豊田小すみれ	さくら第二 じゅんとく つくし たかはた	東光寺小 平山小 南平小 南平小よつば	—

### 第3章 3.2.3 子育て支援施設の最適化方針

施設類型	方針
保育園	<ul style="list-style-type: none"><li>・あさひがおか保育園は、公立保育園として継続し、認定こども園への移行などを検討する。</li><li>・みさわ保育園は、公立の保育所型認定こども園化し、周辺子育て支援施設との複合化や近隣保育園との集約化等を検討する。</li><li>・みなみだいら保育園は、令和11年度（2029年度）から民営化を行うこととする。</li><li>・その他の保育園については、当面の間は修繕等による維持管理を行い、現施設で可能な多機能化や多様な支援ニーズに対応する。中長期的には、長寿命化や建替え、周辺施設との複合化や統合、民営化などを検討する。</li></ul>
児童館	<ul style="list-style-type: none"><li>・引き続き、各中学校区に少なくとも1館の設置は維持継続を図る。</li><li>・もぐさだい児童館は、当面の間は修繕等による維持管理を行いながら、近隣エリアで子育て支援施設の複合化や集約化も視野に入れた整備を検討する。</li><li>・ひの児童館、しんめい児童館は、当面の間は修繕等による維持管理を行いながら、周辺公共施設との再編を検討する。</li><li>・みさわ児童館は、当面の間は修繕等による維持管理を行いながら、長寿命化や周辺エリアで子育て支援施設との複合化を検討する。</li><li>・まんがんじ児童館は、令和7年度（2025年度）に新まんがんじ児童館建設工事を実施する。</li><li>・たまだいら児童館は、多摩平の森ふれあい館の施設整備とあわせて検討する。</li><li>・その他の児童館は、維持継続していくために中長期的な修繕や長寿命化、施設の更新を実施する。</li></ul>

### 第3章 3.2.3 子育て支援施設の最適化方針

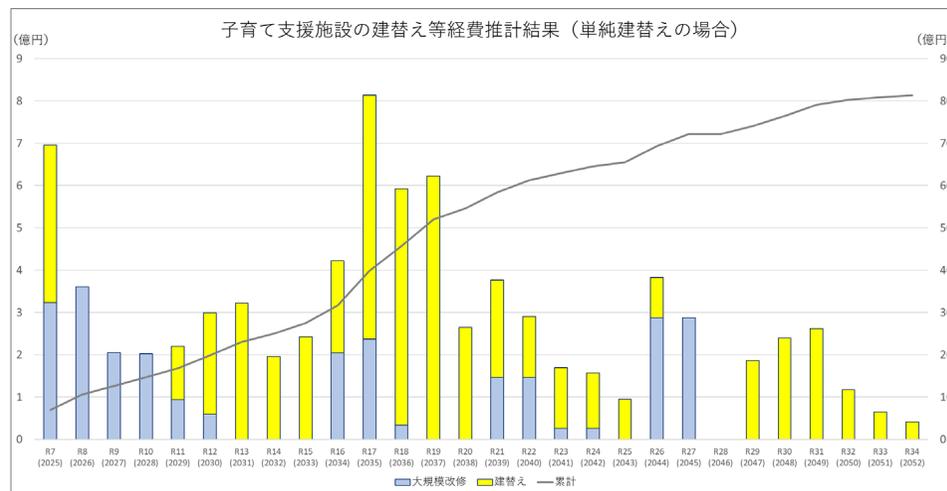
施設類型	方針
<b>学童クラブ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 小学校校舎内の学童クラブは、各小学校の環境整備とあわせて施設整備を検討する。</li><li>・ ふたば学童クラブは、借用しているふれあいホールの環境整備にあわせて検討する。</li><li>・ しんめい学童クラブは、併設するしんめい児童館の方針とあわせて、周辺公共施設との再編を検討する。</li><li>・ 潤徳小と日野第八小の学区の施設は、周辺公共施設との施設再編を検討する。</li><li>・ 夢が丘小学童クラブは、学校敷地内への移転を検討する。</li><li>・ その他の学童クラブは、今後も維持・継続していくこととする。</li><li>・ 教育委員会や学校とも協議を行いながら、学童クラブ施設は学校敷地内の整備を基本の考えとする。</li></ul>
<b>その他 子育て支援 施設</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子育てひろば程久保「あかいやね」は、当面の間は修繕等による維持管理を行いながら、近隣エリアで子育て支援施設の複合化や集約化も視野に入れた整備を検討する。</li><li>・ 発達・教育支援センター「エール」は、今後も維持・継続して運営していくこととする。他の公共施設の複合化・多機能化等のタイミングも踏まえ、発達・教育支援センター「エール」のサテライト機能について検討する。</li><li>・ 子ども包括支援センター「みらいく」は、長期修繕計画のもと、施設を維持・継続していくこととする。</li></ul>

# 第4章 4.1 経費の見込み

## 単純建替えの場合

構造	大規模改修	建替え
木造	実施しない	実施時期：30年 単価：527千円/m <sup>2</sup> 実施期間：3年
RC造 S造	実施時期：30年 単価：350千円/m <sup>2</sup> 実施期間：2年	実施時期：60年 単価：583千円/m <sup>2</sup> 実施期間：3年

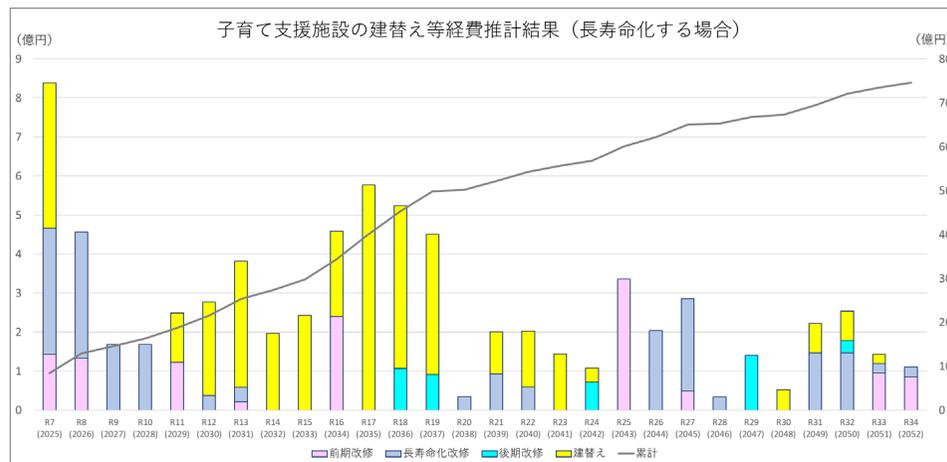
➔ 28年間の経費：約81億3千万円  
(年平均: 約2.9億円/年)



## 長寿命化の場合

構造	前期改修	長寿命化改修	後期改修	建替え
木造	実施しない	実施しない	実施しない	実施時期：30年 単価：527千円/m <sup>2</sup> 実施期間：3年
RC造 S造	実施時期：20年 単価：146千円/m <sup>2</sup> 実施期間：1年	実施時期：40年 単価：350千円/m <sup>2</sup> 実施期間：2年	実施時期：60年 単価：146千円/m <sup>2</sup> 実施期間：1年	実施時期：80年 単価：583千円/m <sup>2</sup> 実施期間：3年

➔ 28年間の経費：約74億6千万円  
(年平均約2.7億円/年)



今後10年間の保全計画は、**長寿命化対策**を実施することを基本とする

## 第4章 4.2 今後10年間の保全計画

本計画の基本方針及び施設評価結果と、財政負担やサービス提供への影響等も踏まえ、今後10年間の施設ごとの対策内容とその実施時期を整理します。なお、計画期間11年目以降の保全計画については、本計画の見直し時に検討することとします。

凡例 前期改修 長寿命化改修 建替え

保育園施設名称	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
みさわ	0	0	0	0	189,238,886	189,238,886	0	0	0	0
たかはた台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あさひがおか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
もぐさ台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
おおくぼ	0	127,937,250	127,937,250	0	0	0	0	0	0	0
しんさかした	0	109,996,250	109,996,250	0	0	0	0	0	0	0
合計（円）	0	237,933,500	237,933,500	0	189,238,886	189,238,886	0	0	0	0

児童館施設名称	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
ひらやま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
もぐさだい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひの	0	0	0	87,563,685	87,563,685	0	0	0	0	0
みさわ	0	0	0	0	95,066,895	95,066,895	0	0	0	0
あさひがおか	0	0	168,017,500	168,017,500	0	0	0	0	0	0
まんがんじ	371,977,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなみだいら	0	77,740,620	0	0	0	0	0	0	0	0
さかえまち	0	0	0	0	79,327,640	0	0	0	0	0
合計（円）	371,977,000	77,740,620	168,017,500	255,581,185	261,958,220	95,066,895	0	0	0	0

# 第4章 4.2 今後10年間の保全計画

児童クラブ施設名称	凡例									
	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
さくら第一	0	28,566,360	0	0	0	0	0	0	0	0
東光寺小	0	0	0	37,364,320	0	0	0	0	0	0
八小	0	0	0	0	47,462,030	47,462,030	0	0	0	0
さくら第二	0	49,412,240	0	0	0	0	0	0	0	0
じゅんとく	0	0	0	0	0	24,290,000	24,290,000	0	0	0
一小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つくし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊田小たんぽぽ	0	0	0	0	43,094,820	0	0	0	0	0
万願寺	0	0	0	0	0	0	21,083,860	0	0	0
七小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四小	0	0	27,807,160	0	0	0	0	0	0	0
三沢	0	0	0	0	35,883,650	35,883,650	0	0	0	0
旭が丘東	0	0	36,938,000	0	0	0	0	0	0	0
たかはた	0	0	0	0	0	13,051,500	13,051,500	0	0	0
南平小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あさひがおか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊田小いなほ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たけのこ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南平小よつば	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計（円）	0	77,978,600	64,745,160	37,364,320	126,440,500	120,687,180	58,425,360	0	0	0
その他子育て支援施設名称	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
あかいやね	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240,072,180
みらいく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計（円）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240,072,180

## 第4章 4.3 今後の対応方針

### 計画のフォローアップ

- 本計画を着実に推進していくにあたっては、Plan(計画)—Do(実行)—Check(評価)—Action(改善)からなるサイクル(PDCAサイクル)を踏まえながら、適切な進行管理を行います。
- 上位計画である「日野市公共施設等総合管理計画」及び、関連する個別施設計画等との整合性を図りながら、社会環境の変化や本市の財政状況等に柔軟に対応するために適宜見直しを行います。
- 子ども・子育て支援会議(必要に応じて専門部会を設置)において情報共有や検討の場を設置し、計画の策定・見直し、及び、進行管理を行っていきます。

### 子育て支援施設個別施設計画策定にあたっての検討の場の設置状況

日付	会議等名称	検討内容
令和6年8月21日	子ども・子育て支援会議	・ 専門部会（保育園関係）の設置について 等
令和6年9月10日	専門部会（保育園関係）	・ 市の保育を取り巻く現状と課題の共有 ・ 今後の公立保育園の在り方の検討 等
令和6年10月8日	専門部会（保育園関係）	・ これまでの民営化の進め方 ・ 今後の公立保育園の在り方と各園の方向性の検討 等
令和6年10月21日	子ども・子育て支援会議	・ 専門部会の検討結果報告、検討 等
令和6年12月19日	子ども・子育て支援会議	・ 個別施設計画（素案）の検討 等

## 第4章 4.3.5 個別再編計画の立案に向けた考え方及び今後の進め方

### 再編計画の取組方針

今後予測される財源不足へ対応するために、子育て支援施設の長寿命化や集約・再配置等の再編事業を実施するにあたり、次の視点から集約・再配置等の検討を行い、必要に応じて子育て支援施設の個別再編計画を策定します。

- ・ 機能集約の拠点となりうる施設の有無及び徒歩圏内における施設の再編検討
- ・ 上位計画における都市づくりの方向性に基づいたエリア内での再編検討
- ・ ハザードエリア内における施設の再編検討

### 再編事業の優先順位の考え方

#### 1. 安全性の確保

- ①建設後の経過年数
- ②ハザードエリア内にある施設かどうか

#### 2. 利便性の向上

- ①将来の利用ニーズ
- ②公共交通機関からのアクセス性

#### 3. 事業効率性の有無

- ①施設がまとまって配置されているかどうか
- ②大規模な敷地があるかどうか

## 第4章 4.3.5 個別再編計画の立案に向けた考え方及び今後の進め方

### 今後の進め方

建設後の経過年数 (今後10年程度のうちに 耐用年数を迎える施設)	保育園：みさわ保育園、たかはた台保育園、あさひがおか保育園、 もぐさ台保育園 児童館：まんがんじ児童館、もぐさだい児童館、ひの児童館 その他：子育てひろば程久保「あかいやね」
ハザードエリア内に ある施設 (土砂災害警戒区域)	児童館：もぐさだい児童館 学童クラブ：東光寺小学童クラブ その他：子育てひろば程久保「あかいやね」
集約拠点となりうる 施設の有無	みさわ保育園 あさひがおか保育園 もぐさ台保育園



- ・みさわ保育園周辺・もぐさ台保育園近隣の子育て支援施設は、各施設の配置関係や集約拠点となりうる施設の状況から、複合化や集約化などの再編事業を優先的に検討する
- ・あさひがおか保育園は、「あさひがおか幼児園」の取組を踏まえて認定こども園への移行等を検討する
- ・まんがんじ児童館は、現施設と同規模で機能向上を図る建替えを行う
- ・ひの児童館は、日野本町地区の個別再編事業での再編を進めていくこととする